

小山市議会議員

# かりべ勉



## 後援会報

討議資料

発行人 かりべ勉後援会

小山市大字犬塚 998-70

TEL 0285-28-1518

FAX 0285-27-3789

E-mail karibe\_shoko@tea.ocn.ne.jp



### 苅部 勉 プロフィール

- ・昭和42年12月6日小山市犬塚生まれ
- ・小山第三中学校卒業 ・石橋高等学校卒業
- ・近畿大学工学部卒業
- ・昭和電工（昭和アルミ）勤務（平成20年末退職）
- ・昭光金属㈱役員
- ・平成23年初当選（1期目）無所属、無会派  
教育経済常任委員会、予算審査特別委員会
- ・犬塚自治会青壮年部理事、消防第5分団員
- ・剣道五段、練兵館後援会長、市剣道連盟理事
- ・家族 両親、妻、長男、次男
- ・趣味 料理

いあいやり

皆様方には日頃より、私の議員活動にご理解、ご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

私は**一源三流**（いちげんさんりゅう）の教えに習い、地域社会に誠実さを持って貢献出来るよう心掛けています。初志を貫くためにもあらためてこの教えについてご紹介させて頂きます。

一つの源とは人間の誠の心であり、ここから血、汗、涙の三つを正しく流す。血は信念を、汗は努力を、涙は感情を表しています。信念を貫くことは、命をかけるくらい真剣に物事に打ち込まないとできない。社会のために額に汗して労を惜しまず努力する。涙を流すというのは、他人への思いやりと同時にその感動感激は、自らを高揚させるエネルギーにもなる。今後とも、より一層のご支援を頂けるよう重ねてお願い申し上げます。

### 仕組みづくり

小山市は立地利便性の良さから、現在でも人口が増えている数少ない自治体の一つです。しかし、少子高齢化は他の市町村同様に進んでおり、就業者数、子供の数は共に減少しています。また、ここ数年の小山市の税収を見ると法人税は若干回復傾向にありますが、個人市民税は減少しています。小山市は同様他市と比較した場合、市の財政は決して悪くはありません。しかし、お金を更に有効に使う方法を考えなくては社会保障費に圧迫され現在のような財政状況は続きません。

例えば、今後の**医療費抑制**のためには、健康で長生きすることが重要です。歩く距離の多い人は成人病にも掛かりにくく医療費も安く済みます。そこで、**運動施設の整備**だけではなく、健康維持のための**運動を長く続けるためのイベントや割引制度等の仕組みづくり**が同時に必要となります。また、**少子化対策**では**保育所整備や職場の確保**だけでなく、**子育てすることで得をしている実感が得られるような仕組み**が必要です。

このような考えを常に行政側に伝え、有効な予算の使われ方がされているかをチェックすることが我々市議の役割と考えています。



## 一般質問（抜粋）

※質問の詳細は、小山市のホームページで閲覧できます

### ◆ 国民健康保険税について

（**苅部質問**）国民健康保険税が最大で4万円増額となりましたが、医療費増加と国民健康保険税収減少について、どのような分析をし、改善すべき課題や、その対応策についてどのように考えているか、ご説明願います。

（**部長答弁**）国民健康保険税の収納率向上のため、納税しやすい環境整備や各種納税相談、関係課及び全職員による休日臨戸訪問、収納強化月間を早期に設定するなどの取り組みを実施してきました。また、医療費を適正化するため、国保資格の適正化、レセプト点検の強化、特定健康診査、保健指導の充実などを図っております。

（**苅部要望**）国民健康保険税を値上げして取りやすい人から取るのではなく、公平に徴収できるようにお願いします。過去には税額を値下げしたことがあります。ジェネリック医薬品の普及など医療費を削減し、税額の値下げが出来るよう目標を立てて頂きたい。

### ◆ 事業評価について

（**苅部質問**）第三者評価の評価対象事業の選定方法について質問します。第一回の事業評価の際には評価を受ける役所側が全ての評価対象事業を選定していた、評価を受ける側が対象事業を選定しては意味が無いと思うが、その後改善されているか。

（**部長答弁**）庁内で第1次選定を行い、さらに第三者評価委員による第2次選定を行い、委員の希望をもとに評価対象事業を決定するようにしました。なお、第1次選定に当たっては、重点事業や一定額以上の事業等の選定について配慮し、また第2次選定では事業の目的や手段、意図、所属長の評価の内容を中心に判断して頂きました。

（**苅部要望**）インターネットを利用して全ての評価シートがいつでも閲覧できるような状態に頂きたい。

### ◆ 財政運営について

（**苅部質問**）財政に関する中長期的な目標を数値化して明確にすることはできないか。特に市債残高の削減目標などは明確にしてほしい。

（**部長答弁**）財政運営は小山市総合計画に基づき5カ年の中期財政収支見込みを作成し、将来的な財政状況を見通しております。市債残高の減少につきましては、市債管理計画を作成し、ピーク時の平成16年度、約998億円から22年度末では約943億円へと6年間で55億円減少させております。

（**苅部要望**）中期財政収支見込み、市債管理計画等も内部資料としてではなく（市民に向けて）開示して頂きたい。

### ◆ いじめに防止対策推進法について

### ◆ 学校適正配置について

### ◆ 環境放射能測定について

## 議会改革

小山市議会では継続的に議会改革を推進しております。この2年間で実施された例と、継続中の検討課題を記載します。皆様からの議会に対するご要望があれば今後の議員活動に反映して行きますので、お気軽にお話ください。

#### 実施済み

- ・ 議会基本条例策定、施行
- ・ 議会報告会の開催
- ・ 政務活動費使途基準の見直し

#### 継続中

- ・ 通年議会の導入
- ・ 常任委員会「特定テーマ」調査研究の導入
- ・ 議員定数削減